Yツール

手引書

(テスター)

2022年11月12日版

1. 目的

MT4のストラテジーテスターでトレード訓練を行う。

2. 基本仕様

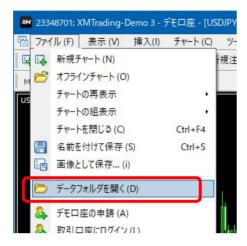
- すべての通貨ペア、すべての時間足に対応。
- コントローラーの表示位置は右上固定で移動不可能。
- ストラテジーテスターに巻き戻し機能はない。
- 成行き売買、成行き決済が可能。
- 指値売買、指値決済は不可能。
- 取引数量(ロット数)は、0.1 固定。
- 高安(仮)と高安(確定)で一時停止が可能。(Macでは未対応)
- 攻防ライン(参考程度)を表示可能。
- YSyncインディケータを使い、上位時間足チャートとの連動が可能。
- ※ 1時間足と日足を連動させたい場合は、YSyncを使用する。
- ※ 1時足チャートのみでローソク足を再生する場合は、YSyncは使用しない。

初期導入時に1度だけ実行する準備作業

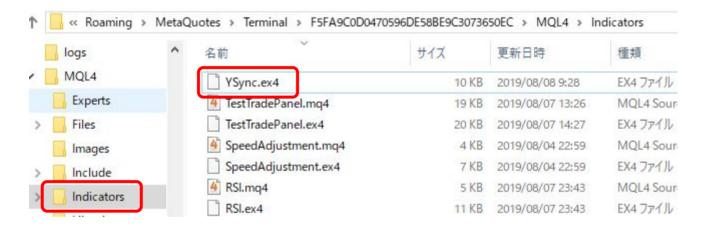
3. YSync導入手順

Yツールと連携して動作する YSyncの初期導入時に以下の手順を 1度実行する。

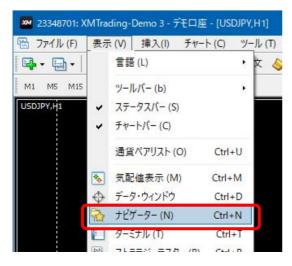
3-1. [ファイル] → [データフォルダを開く]



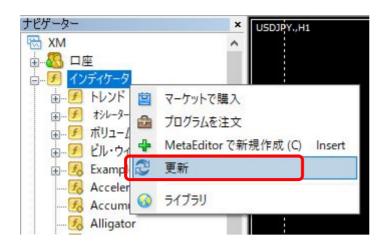
3-2. MQL4 → Indicators のフォルダにYSync.ex4を保存する。



3-3. [表示] → [ナビケーター] を選択。



3-4. [インディケータ] を右クリック → [更新] を選択。



3-5. YSync が表示される。



3-6. [ツール] → [オプション] → 「エキスパートアドバイザ」を選択し、「自動売買」と「DLL使用」を有効にする。

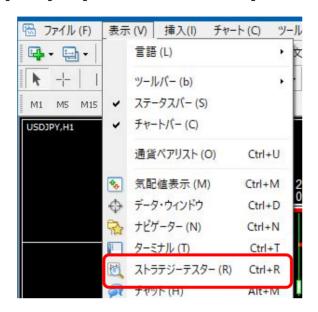


3-7. MT4を再起動して、3-6の設定内容を有効化する。

1つのチャートを単体で実行したい場合

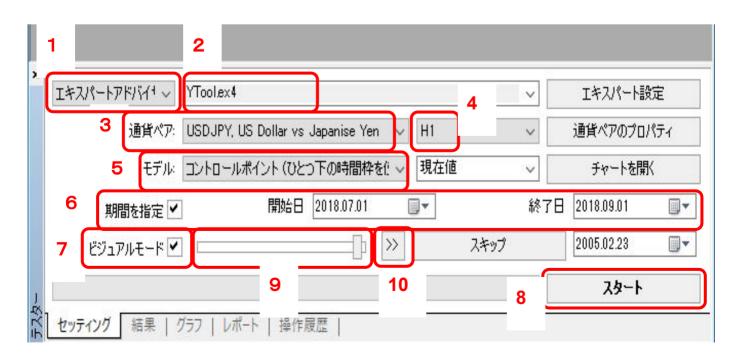
4. テスター実行手順

4-1. [表示] → [ストラテジーテスター] を選択。



- 4-2. 1番から7番まで設定し、「スタート」をクリックする。
 - 1. エキスパートアドバイザー
 - 2. YTool.ex4
 - 3. 検証したい通貨ペア
 - 4. 検証したい時間足
 - 5. コントロールポイントを選択

- 6. 検証したい期間を指定
- 7. ビジュアルモードをONにする
- 8. スタート、ストップ(テスター終了)
- 9. 進行スピードの調整
- 10. 一時停止、再開ボタン



4-3. 手動売買パネルの説明





テスターを一時停止している最中にボタンを押した場合は、テスターを再開したタイミングで機能する。

指値エントリーや指値決済はできず、すべて成行きでのトレードとなる。(ロット数は 0.1 固定)

- ① 保有中のロット数
- ② 平均レート
- ③ pips損益
- ④ 有効証拠金
- ⑤ 日時

「高安点灯で一時停止」: 高安マークが点灯した時に一時停止する。

「高安確定で一時停止」: 高安マークが確定した時に一時停止する。

「攻防ライン」・攻防ラインを引く。

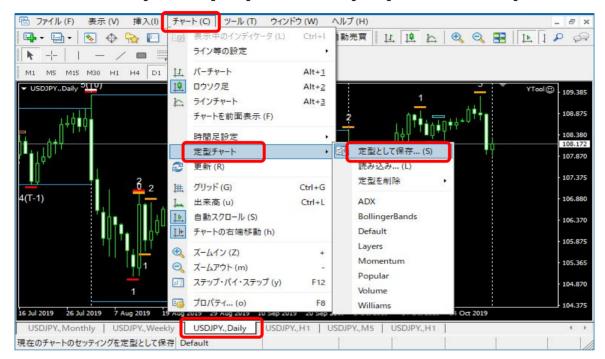
1時間足と日足を連動させたい場合

5. テスターの準備作業(日足チャートの退避)

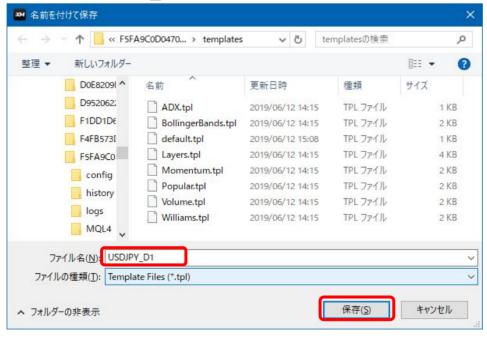
この準備作業は毎回実行する必要がある。

5-1. 手動でマーク付けしてある「日足チャート」を保存する。

日足チャートで、「チャート] → [定型チャート] → [定型として保存]を選択。



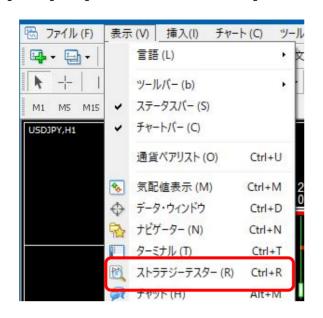
5-2. 名前(例: USDJPY_D1)を入力して保存。2回目以降は上書き保存する。



5-3. 日足チャートを閉じておく。

(YSyncが日足のオフラインチャートを生成して既存チャートを上書きするため)

5-4. [表示] → [ストラテジーテスター] を選択。



5-5. 1番から7番まで設定し、「スタート」をクリックする。

- 1. エキスパートアドバイザー
- 2. YTool.ex4
- 3. 検証したい通貨ペア
- 4. 検証したい時間足
- 5. コントロールポイントを選択

- 6. 検証したい期間を指定
- 7. ビジュアルモードをONにする
- 8. スタート、ストップ(テスター終了)
- 9. 進行スピードの調整
- 10. 一時停止、再開ボタン



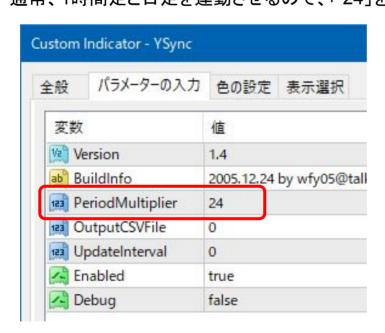
5-6. インディケータの YSyncをダブルクリックする。 または、テスター用のチャートにドラッグ & ドロップする。



5-7. 「全般タブ」で「DLLの使用を許可する」を有効にする。(初回のみ)



5-8. 「パラメーターの入力」タブの PeriodMultiplier には、同期させる長期足を作るための倍数を設定する。(毎回) 通常、1時間足と日足を連動させるので、「24」を設定する。



5-9. [ファイル] → [オフラインチャート] を選択。



5-10. 生成した日足のオフラインチャートを選択

ストラテジーテスターで設定した通貨ペア、YSyncで生成した日足(USDJPY,Daily)を選択する。

通常、「ストラテジーテスターで設定した開始日」と「オフラインチャートの終了日」が一致している。



5-11. 連動して動く日足チャートには、自分で高安マークを付けてください。

(日足チャートに YToolを適用すると白マークが付くが、

テスター再生実行後はマーク付けされない。)



5-12. 操作説明



テスターを一時停止している最中にボタンを押した場合は、テスターを再開したタイミングで機能する。

指値エントリーや指値決済はできず、すべて成行きでのトレードとなる。

- ① 保有中のロット数
- ② 平均レート
- ③ pips損益
- ④ 有効証拠金
- ⑤ 日時

6. レポート

6-1. トレード結果の確認

トレード訓練終了後、テスターの「ストップ」ボタンをクリックすると、「レポート」タブで結果を確認できる。

- 1. 勝率、負率
- 2. 平均 勝ち pips、平均 負け pips

n/a	モデリング品質	3757	モデルティック数	1168	テストバー数
				1161	不整合チャートエラー
現在値 (21	スプレッド			50000.00	初期証拠金
-5.85	総損失	92.54	総利益	86.69	純益
		21.67	期待利得	15.82	プロフィットファクタ
0.09% (45.65	相対ドローダウン	45.65 (0.09%)	最大ドローダウン	4.80	絶対ドローダウン
1 (100.00%	買いポジション(勝率%)	3 (66,67%)	売りポジション(勝率%)	4	総取引数
1 (25.00%	負率 (%)	3 (75.00%)	勝率(%)	1	
-5.8	敗トレード	62,40	勝トレード	最大	
-5.85	敗トレード	30.85	勝トレード	2 平均	
1 (-5.85	連敗(金額)	3 (92.54)	連勝(金額)	最大	
-5.85 (1	連敗(トレード数)	92.54 (3)	連勝(トレード数)	大最	
	連敗	3	連勝	平均	

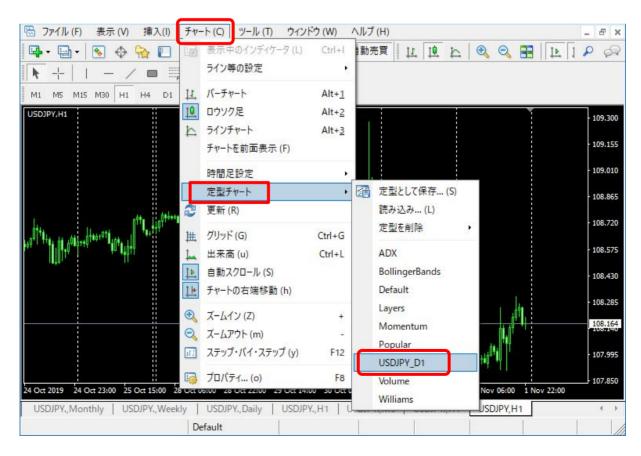
7. 日足チャートの復活

トレード訓練の終了後、日足チャートを元に戻す。

- 7-1. テスターで使用した日足チャートと 1時間足チャートを閉じる。
- 7-2. 新規にドル円のチャートを表示する。



- 7-3. 表示する時間足を日足「D1」にする。
- 7-4. [チャート] → [定型チャート] → [USDJPY_D1]を選択して、チャートを復活させる。



8. よくある質問

- 8-1. YSyncを使って長期足と連動させることができますが、 複数の長期足チャートと連動させることはできますか?
- ⇒ はい、可能です。

通常、1時間足を基に24倍した日足チャートを連動させますが、 もう一度 YSync を適用して、例えば 4倍を設定することで、 1時間足、4時間足、日足の3つのチャートを連動させることができます。

- 8-2. YSync で生成した日足のローソク足の本数が最初は少ないので、 日足の流れを十分に読み取ることができず、トレード訓練の精度が 落ちてしまいます。どうしたらいいですか。
- ⇒ YSyncが初期生成するローソク足の本数を増やすことは技術的に困難なため、 ある程度テスターを進ませて、日足の流れが見えてきた段階で、トレード 訓練を始めるようにしてください。
- 8-3. 過去何年分のチャート検証をしたらいいですか。
- ⇒ 直近1週間を何度も繰り返して検証することをおすすめします。 「報道による突発的な値動き」や「重要な経済指標の発表」によって テクニカルを無視した値動きが発生する場合があります。 それらの情報を把握している直近1週間であれば、"変な動き"の理由を 知ったうえで検証することができます。

逆に、突発的な値動きの理由も分からないまま過去チャート検証する ことに意味を見出せません。

- 8-4. ストラテジーテスターの実行途中で MT4を終了し起動したら、 テスターのチャートが消えました。途中から実行できますか。
- ⇒ できません。再度、開始日付を指定して実行してください。